

平成26年11月20日

豊田市議会議長 都築繁雄 様

議会活性化推進特別委員会

委員長 杉浦弘高



### 委員派遣実施報告書

本委員会は、下記のとおり委員派遣を実施しましたので、委員会条例第37条第1項の規定により提出します。

#### 記

- 1 派遣期間 平成26年10月21日(火)～23日(木)
- 2 派遣先 21日(火)…滋賀県大津市  
及び内容 /通年議会について、政策条例について  
22日(水)…福岡県北九州市  
/委員会提出条例について、常任委員会について  
23日(木)…岡山県倉敷市  
/常任委員会について、議員提出条例について
- 3 派遣委員 委員長 杉浦 弘高  
副委員長 山野辺秋夫  
委員 河合 芳弘 大村 義則 杉浦 昇  
小島 政直 鈴木 章 山田 主成  
木本 文也 中村 孝浩 青山さとし
- 4 報告書 視察報告書のとおり
- 5 その他 随行 副主幹：成瀬 剛史、主事：近藤乃介

## 視察報告書【1】

委員会名	議会活性化推進特別委員会	委員名	杉浦 弘高
視察日時	平成26年10月21日（火）午前10時30分～午前12時		
視 察 先	滋賀県大津市		
視察内容	通年議会について 政策条例について		
選定理由	当委員会の調査研究事項である「議員提出条例、委員会提出条例」「定例会の回数、会期」の参考とするため		
本市議会の現状と課題	当委員会は、他自治体の事例調査を行い、常任委員会・特別委員会の設置方法（設置年数、設置数、参加人員等）と議員提出条例の提出状況、併せて定例会の会期等の見直しについて調査研究している。		
視察概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年5月に通年議会を導入し、5月～4月の約1年を会期としている。</li> <li>・平成25年度は4回の通常会議（定例会に相当）と6回の特別会議（臨時会に相当）を開催した。</li> <li>・通年議会の方法は、先行自治体パターンである従来の定例会を工夫した通年議会としている。</li> <li>・平成23年6月に各党派代表者からなる政策検討会議（10名以内）を設置した。</li> <li>・平成23年度は議員政治倫理条例、平成24年度はいじめ防止条例を制定、平成25年度は議会BCPを策定した。平成26年度は防災基本条例と議会基本条例を検討している。</li> <li>・議会と大学とのパートナーシップ協定を結んでおり、大学からは講師やアドバイザーの派遣、議会ではインターンシップの受け入れなどを行っている。</li> </ul>		
評価とその理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ問題や集中豪雨における執行部の対応が後手に回り、絶え間なく執行部を監視できる体制、災害に対する危機管理体制が必要ということで通年議会が導入されたが、市長と議会との関係によるところが大きいと感じた。</li> </ul>		
本市議会に反映できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年4回の定例会を基本とした現行制度でも、臨時会や閉会中の常任委員会活動を活用すれば、通年議会と同様な取組は可能である。</li> <li>・政策立案時に大学からのアドバイザー派遣や議会事務局に政策法制係が配置されている点は非常に参考となる。</li> </ul>		
その他 (意見・課題など)			

## 視察報告書【2】

委員会名	議会活性化推進特別委員会	委員名	杉浦 弘高
視察日時	平成26年10月22日（水）午前10時00分～午前11時30分		
視 察 先	福岡県北九州市		
視察内容	委員会提出条例について 常任委員会について		
選定理由	当委員会の調査研究事項である「常任委員会・特別委員会の設置方法（設置数、期間、定員等）」「議員提出条例、委員会提出条例」の参考とするため		
本市議会の現状と課題	当委員会は、他自治体の事例調査を行い、常任委員会・特別委員会の設置方法（設置年数、設置数、参加人員等）と議員提出条例の提出状況、併せて定例会の会期等の見直しについて調査研究している。		
視察概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年3月に各会派代表者からなる議会改革協議会（8名）を設置した。</li> <li>・議員定数、議員報酬、政務活動費、選挙公報などについて協議しており、議員定数を検討するにあたり、常任委員会のあり方についても議論された。</li> <li>・協議結果を受け、閉会中の常任委員会活動、計画的な所管事務調査等、活発な委員会活動が行われることとなった。</li> <li>・商店街の活性化に関する条例を経済港湾委員会で検討し、委員会提出条例として平成25年11月に施行した。</li> <li>・平成26年度は中小企業振興条例を経済港湾委員会で検討している。</li> </ul>		
評価とその理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の声をもとに条例制定を行ったことは意義がある。商店街への加入も努力規定であり、まだ効果も表れていないようだが、事業への予算はつきやすくなったとのことであった。</li> <li>・月2回以上の閉会中の常任委員会活動や明確な課題を設定した計画的な所管事務調査等は評価できる。</li> </ul>		
本市議会に反映できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会事務局に政策担当の専門職員が配置されている点は非常に参考となる。</li> </ul>		
その他 (意見・課題など)			

### 視察報告書【3】

委員会名	議会活性化推進特別委員会	委員名	杉浦 弘高
視察日時	平成26年10月23日（木）午前10時00分～午前11時30分		
視 察 先	岡山県倉敷市		
視察内容	常任委員会について 議員提出条例について		
選定理由	当委員会の調査研究事項である「常任委員会・特別委員会の設置方法（設置数、期間、定員等）」「議員提出条例、委員会提出条例」の参考とするため		
本市議会の現状と課題	当委員会は、他自治体の事例調査を行い、常任委員会・特別委員会の設置方法（設置年数、設置数、参加人員等）と議員提出条例の提出状況、併せて定例会の会期等の見直しについて調査研究している。		
視察概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年6月に災害対策基本条例、平成23年9月に飼い犬ふん害防止条例、平成24年11月に空き家等の適正管理に関する条例を議員提案により制定した。</li> <li>・常任委員会の数は6つあり、中核市では松山市と並んで最も多い。委員数は7～8名である。</li> </ul>		
評価とその理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会は市民の代表であるとのことで、政策条例策定時にパブリックコメントを実施しておらず、議論の分かれるところである。</li> <li>・会派から提案された条例議案を1日の審議で可決してしまうのは、少し議論が足りなくなるおそれがあるのではないかと感じた。</li> </ul>		
本市議会に反映できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・請願者に対して委員会での意見陳述を実施しており、好評とのことである。市民の議会活動への参画機会の確保という点で参考になる。</li> </ul>		
その他 (意見・課題など)			